



〈雑録〉何故ニ職工組合ハ科學的管理法ニ反對スルヤ (2)

丸谷, 喜市

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 22(5):870*-876*

(Issue Date)

1917-05

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052711>



何故ニ職工組合ハ科學的管理法ニ反對スルヤ (其二)

商學士 丸 谷 喜 市

吾人ヲ以テ見ルニ、上述ノ如キ諸種ノ理由ハ能ク職工組合ト科學的管理法ト相矛盾スルノ眞因ヲ語ルモノニ非ズ。吾人ノ見ヲ以テスレバ兩者ノ矛盾ハ根本ニ於テ左ノ如キ事實ニ基クモノナリ、曰ク、科學的管理法ハ産業條件ノ不斷且ツ無限ナル變化アル事ヲ前提トシ、之アルニ依テ初メテ其效

力ヲ發揮スルコトヲ得ルモノナルニ反シ、現時ノ職工組合ハ一定期間内産業條件ノ固定セラル、コトヲ前提トシ、之アルニ依テ初メテ其職能ヲ完フスルコトヲ得ル事即チ之ナリ。前者ハ常ニ新工程若クハ新生産方法ヲ採用シ、且ツ之等新方法ノ必要ニ應ジテ飽クマデ機械的要素及ビ人的要素ノ左右スルノ可能アル事ヲ前提トスルモノニシテ、後者ハ豫メ一定ノ規定ヲ設ケテ此ノ如キ産業的變化ヲ抑制シ、拘束スルニ依テ初メテ其職能ヲ發揮スル事ヲ得ルモノナリ。科學的管理法ハ其考案ニ於テ、又其方法ニ於テ飽クマデ動的ナリ。サレバ之ニ對シテ靜的條件ヲ課シ、之ヨリ動的事實ノ利用ヲ奪ハンカ、之レ即チ科學的管理法ヨリ其目的ト效果トヲ奪フモノナリ。之ニ反シ職工組合ハ産業上ノ靜態ヲ維持スルニ依テ初メテ其效果ヲ現ハシ得ルモノナリ。要之、一方ヲシテ效果アラシムルノ前提要件ハ他方ヲシテ效果アラシムルノ要件ト兩立セザルナリ。之レ職工組合ガ科學的管理法ニ反對スルノ眞因タラズンバアラザルナリ。

以上ノ所論ヲ證センガ爲メニハ科學的管理法及ビ職工組合ノ手段方法ニ就テ考察スレバ足レリ。依テ之ニ就テ一言スベシ。

科學的管理ノ主要ナル手段ハ言フマデモナク時間及ビ動作研究ナリ。科學的管理法ガ産業上必要ナル基本的知識ヲ得、且ツ之ヲ行爲ノ上ニ實現スルハ專ラ時間及ビ動作研究ニ依ルモノニシテ、課業ノ賦課、賃率ノ決定等ノミナラズ、工場ニ於ケル物質的、機械的、及ビ人的諸條件ノ改善、生産過程ノ整理ヲ行フモ亦此研究ニ基キテ之ヲ爲スモノナリ。而シテ此ノ如キ時間及ビ動作研究ハ生産方法ニ於ケル不斷ナル變化ヲ意味ス、即チ一ノ新方法發見セラルレバ次デ之ニ對スル改善行ハレ、

續イテ更ニ又他ノ新機械、新材料、新作業方法ノ發見トナル。斯ノ如クシテ變化ノ上ニモ變化アルコト之レ即チ科學的管理法ノ眞面目ニシテ又其眞手段タルナリ。約言スレバ時間及ビ動作研究トハ廣義ニ於テハ生産方法ノ總テノ方面ニ於ケル分解ヲ意味スルモノニ外ナラズ。而モソハ一時ニ完成セラレ了ル如キ性質ノモノニ非ズシテ其事業ノ存續スル限り不斷ニ續行セラルベキモノ也。而シテ科學的管理法ハ此ノ如キ時間及ビ動作研究ノ結果トシテ有利ナリト看做サル、新方法ハ何事ニヨラズ之ヲ採用セントスルモノナリ。其方法ノ主ナルモノヲ舉グレバ、新課業若クハ新課業ノ發見及ビ應用、此種新事實ニ順應センガ爲メニスル勞働組織ノ改革、適材ヲ適所ニ置カンガ爲メニスル勞働者ノ置替——一種ノ勞働ヨリ他種ノ勞働ニ、又ハ一課業ヨリ他ノ課業ニ——勞働者ヲシテ最大ノ生産力ヲ發揮セシメンガ爲メニ其天性及ビ氣質ニ應ジテ勞働及ビ賃銀ヲ變更スル事等即チ之ナリ、科學的管理法ヲシテ時間及ビ動作研究ノ成果ヲ利用スルコトヲ廢セシメ、殊ニ之ニ依テ勞働者ノ區分(分擔)ヲ改メ、特殊ノ作業ニ對シ特殊ノ勞働者ヲ配スル事ヲ妨グルガ如キハ即チ科學的管理法ノ精神ヲ沒却セシメントスルモノニシテ、科學的管理法ガ他ノ普通ノ管理ト異ナル所以タル、可成の最大ノ能率ヲ擧ゲントスルノ企圖ヲ無効ニ歸セシムルモノナリ。

翻テ職工組合ハ如何ト言フニ其政策、要求及ビ手段ヲ一貫スル一ノ主義ハ劃一主義 Principle of uniformity ナリ。其組合ニ屬スル勞働者全體ニ對シ勞働條件及ビ賃銀ヲ劃一ニセントスルコト、之レ組合ノ企圖スル所ナリ。而シテ劃一主義ノ十全ノ理想ヲ言ヘバ、同一ノ勞働ニ從事スル者ハ同一ノ道具及ビ便宜品ヲ給セラレ、同一ノ時間、同一ノ速度ニテ働キ、同一分量、同一品質ノ財貨ヲ生産

シ、且ツ同率ノ賃銀ヲ受クベシト言フニアリ。組合ガ最低限タル標準賃率ヲ定ムベシト言ヒ、勞働時間（一日ノ）及ビ勞働日數（一週ノ）ノ最大限及ビ一日又ハ一週ニ對スル勞働ノ標準割合ヲ定ムベシト言フハ即チ此劃一主義ニ據ルモノニ外ナラザルナリ。組合ガ時間外勞働又ハ不規則ナル方法及ビ不規則ナル條件ノ下ニ行ハル、勞働ニ對シテ割増賃銀ヲ要求スルハ即チ之等標準條件ノ破棄セラルル事ヲ防止セントスルノ趣意ニ外ナラズ。又彼等ガ closed shop（組合以外ノ勞働者ヲ使用セザル工場）ナルモノニ依テ勞働人員ニ對スル支配力ヲ掌握シ、且ツ個人ノ生産高ニ干渉シ、賞與金、割増金ノ廢止ヲ要求シ、集合協約ヲ要求スルハ皆勞働及ビ賃銀ノ標準ヲ維持シ、劃一主義ヲ擁護セントスルモノニ外ナラザルナリ。

組合ガ劃一主義ヲ主張スルハ既ニ述ベタルガ如ク、之ニ依テ生産高ヲ制限セン事ヲ終局ノ目的トナスモノニ非ズ、然レドモ組合ハ多年一般企業者ニ接シタル結果次ノ如キ事實ノ枉グベカラザルヲ知ルニ至レリ。曰ク、一般ニ企業者ナルモノハ常ニ賃率ノ引下ゲヲ企圖シ、同時ニ個々ノ勞働者ヲ驅使シ若クハ私カニ之ニ路シテ勞働ノ速度及ビ時間ヲ増大セシメン事ヲ計リ、延テハ此クシテ増加サレタル速度及ビ時間ヲ例證トシテ一般勞働者ノ徐歩的態度ヲ誣フルノ具トナシ、以テ其賃銀ノ引キ下ゲ又ハ勞働時間ノ延長ヲ要求スル事即チ之ナリ。組合トシテハ此ノ如キ勞働者間ノ競下ゲヲ防止スルノ手段トシテハ勞働及ビ賃銀ニ關スル一切ノ條件ニ就テ劃一的ナル標準ヲ定ムルノ外ナキナリ。

而シテ此ノ如キ劃一主義ハ之ヲ侵害セントスル企業者アルニ於テハ、或ル一定ノ期間中勞働及ビ

報酬ニ關スル一切ノ條件ガ固定セラル、ニ非ザレバ能ク之ヲ維持スルヲ得ザルモノナリ。詳言スレバ一切ノ變化ガ抑制セラル、カ若クハ新方法ノ採用ト之ニ對スル機械的竝ニ人的要素ノ順應、及ビ賃銀ニ關スル變化等ガ一定ノ規定ニ依テ制限セラル、ニ非ザレバ劃一主義ノ維持ハ不可能ナリト言フベシ。

加之、大局ヨリ見テ——且ツ組合側ノ常ニ言フ如ク——企業者ナルモノハ常ニ勞働者ヲ犠牲トシテ以テ利得ヲ得ントスルモノナル限り、假ニ企業者及ビ組合間ニ於テ一定期間内勞働條件ノ變更ヲ拘束セントスルノ契約ヲ締結ストスルモ、若シ他面ニ於テ時間及ビ動作研究ガ容認セラル、ニ於テハ劃一主義ハ早晚破棄セラル、ノ運命ヲ有スルモノト言ハザルベカラズ。何トナレバ時間及ビ動作研究ハ常ニ舊來ノ熟練勞働ヲ破壊シ單ナル專門的勞働者(Specialist workmen)ヲ以テ熟練職工(Craftsmen)ニ代ヘントスルノ傾向ヲ有スルモノナレバナリ。加フルニ科學的管理法ニ於テハ時間及ビ動作研究ノ結果トシテ發見ト綜合ト分類トハ不斷ニ行ハレ、之ヲ基礎トシテ一定ノ指圖票(instruction card)ナルモノ作成セラル。而シテ比較的熟練ナキ勞働者ト雖モ、此指圖票及ビ工長ノ指導ニヨリテ從來熟練勞働者ノミ能ク行ヒ得シ如キ仕事ヲ比較的短期間内ニ修得スル事ヲ得ルナリ、故ニ時間及ビ動作研究ノ行ハル、限り、假令上述ノ如キ規定ト制限トヲ設クルトモ、各契約期間ノ終リニ於テハ企業者ハ漸次組合ニ依頼スルノ度ヲ減ジ、漸次熟練職工ニ代フルニ單ナル專門勞働者ヲ以テシ、且ツ劃一的賃銀ニ代フルニ能率法賃銀ヲ以テスルニ至ルベシ。而シテ比較的熟練ナキ專門勞働者ハ組合員トシテハ好個ノ組合員ニ非ザルハ明カナル事實ナルベシ。又能率法賃銀ハ各勞働者ノ注

意ヲ自己一身ノ利害ニ向ハシメ、勞働者間ニ於ケル利害ノ共同及ビ相倚相扶ルノ感情ヲ減殺スルモノナリ。此ノ如キ事情ノ下ニ於テハ組合ハ産業の民主主義ニ不可解要件タル組合勞働者ノ協同一致ノ精神ヲ維持スル能ハズ、又企業者ノ意思ニ逆行シテ劃一主義ヲ實行スル能ハザルナリ。

斯ノ如ク科學的管理法ニトリテ缺クベカラザルノ要件タル產業條件ノ變化ハ、組合政策ノ主眼タル劃一主義トハ明カニ矛盾スルモノナリ。之ヲ以テ見ルニ現時ノ職工組合ガ寧ロ本能的ニ一切ノ變化ニ反對シ、且ツ變化ノ母タル時間及ビ動作研究ニ反對スルノ決シテ偶然ニ非ザル事ヲ知ルベシ。

斯ク言ハゞ讀者或ハ問ハン。以上ノ如キ根本的傾向ニ於ケル兩者ノ矛盾ハ之ヲ是認スルトスルモ然ラバ何等欺瞞ヲ事トセズ、否却テ賃銀ヲ維持シ、若クハ能率ノ増進ト共ニ賃銀ヲ増加セントスルノ意圖ヲ以テ行ハル、科學的管理法ニ對シテハ、組合ハ何故ニ例外ヲ設ケザルヤト、之ニ對シ組合側ハ答ヘテ言フベシ。科學的管理法ノ理想ハ正ニ此ノ如クナルベシ。然レドモ此ノ理想ハ遂ニ實現セラレタルコトナキ也ト。然リ科學的管理法ハ賃率ヲ維持シ又ハ勞働者ノ所得ヲ増加スル事アルベシ。然レドモ舊來組合ノ多數ヲ占ムル熟練勞働者ハ之ニ依テ毫モ益セラル、所ナキナリ。蓋シ科學的管理法ハ不斷ノ變化ヲ以テ各種ノ熟練勞働ヲ破壞シ、之ニ對スル從來ノ特殊ノ賃率ヲ破却シ、熟練勞働者ヲ驅テ専門の不熟練勞働者ノ群ニ投ズルモノナレバ也。而シテ之等不熟練勞働ヨリ言ヘバ其賃銀ハ科學的管理法ニヨリテ騰貴セルナラムモ之ヲ舊來ノ熟練勞働者ノ賃銀ニ比較スル時ハ尙遙カニ低キ事ヲ免レザルナリ。

要之、科學的管理法ハ職工組合ニトリテハ最モ惡ムベキノ敵ナリ。何トナレバ科學的管理法ハ舊

來ノ熟練勞働ノ破壞ヲ意味シ、組合ノ劃一主義實行ノ基礎タル産業的民主々義ノ心理ヲ破却スルモノナレバナリ。而シテ茲ニコソ吾人ハ『何故ニ職工組合ハ科學的管理法ニ反對スルヤ』ノ疑問ニ對シテ最後ノ答解ヲ有スルモノト信ズルモノナリ。(完)